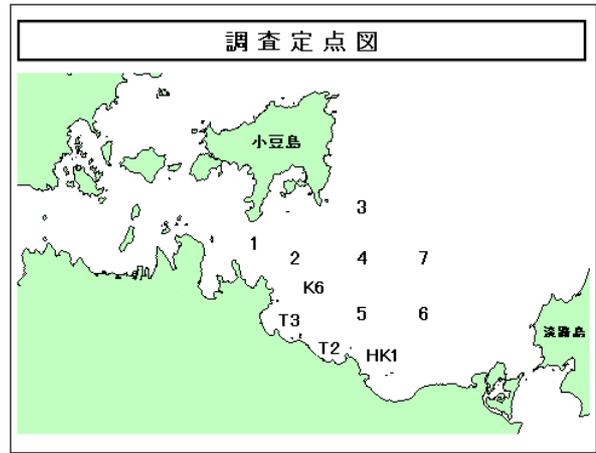


# カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2014. 7-2号)

香川県水産試験場 益井  
TEL: 087-843-6511

調査日: 2014年7月16日  
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳  
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

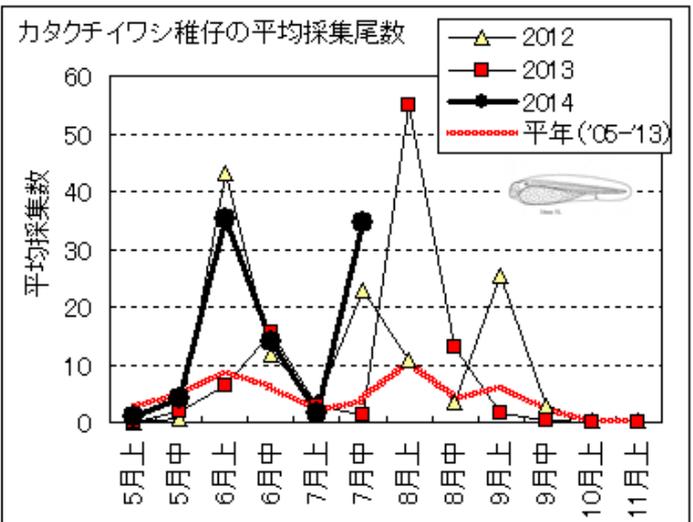
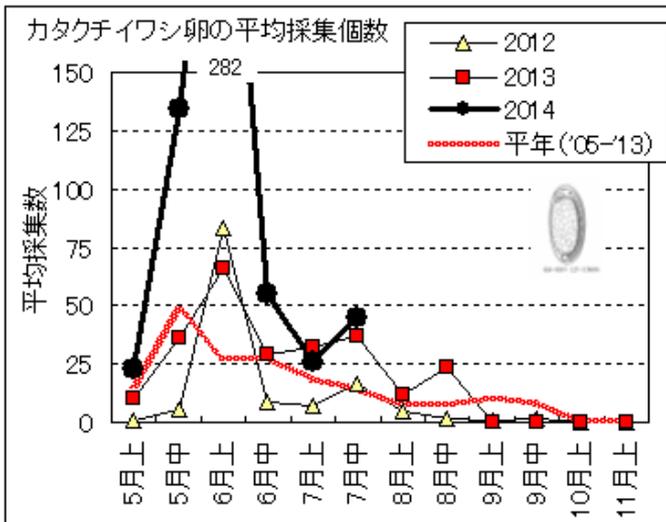


## 【カタクチ卵】 定点別出現数

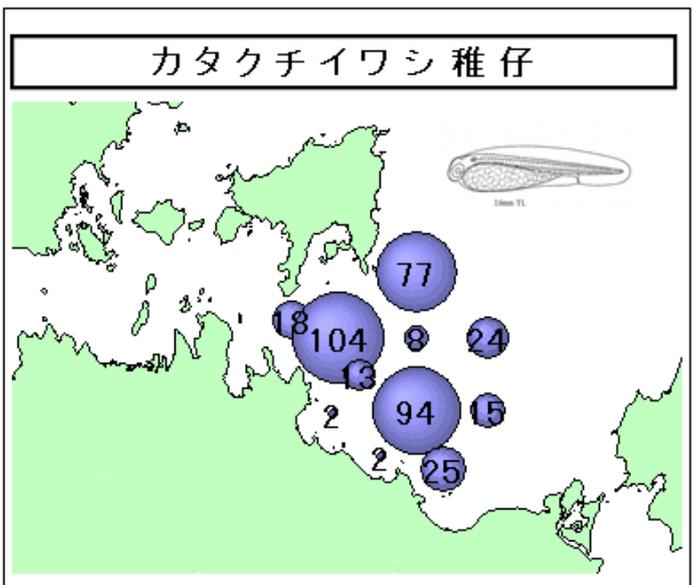
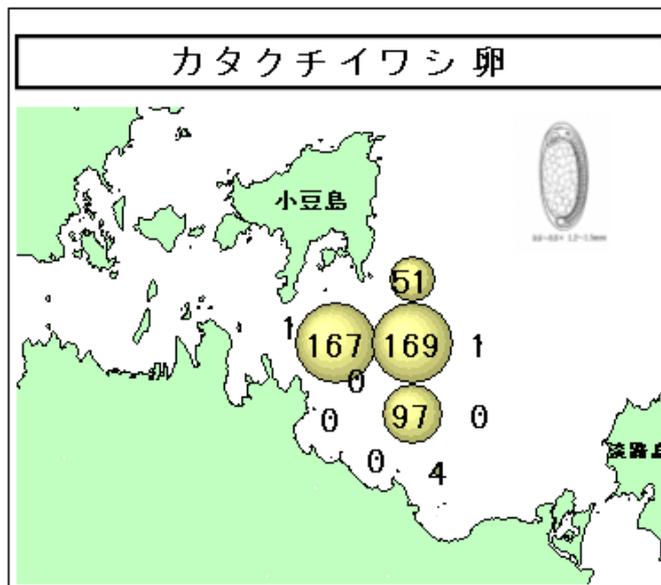
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.7.18	0	9	0	6	87	59	0	10	5	2	0	16.2
2013.7.17	0	3	0	0	1	1	0	400	0	0	1	36.9
<b>2014.7.16</b>	<b>1</b>	<b>167</b>	<b>51</b>	<b>169</b>	<b>97</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>44.5</b>

## 【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.7.18	0	7	87	65	7	28	52	2	1	2	0	22.8
2013.7.17	0	1	2	4	1	4	2	1	0	0	0	1.4
<b>2014.7.16</b>	<b>18</b>	<b>104</b>	<b>77</b>	<b>8</b>	<b>94</b>	<b>15</b>	<b>24</b>	<b>25</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>13</b>	<b>34.7</b>



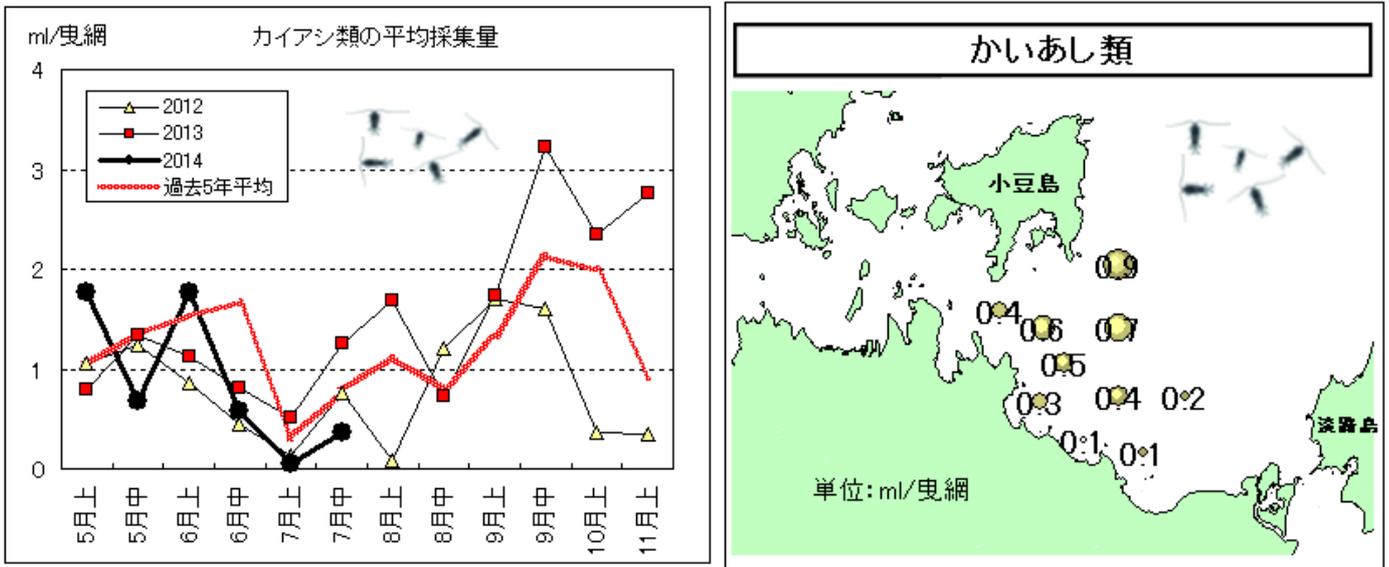
\* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は約45個で、前回(7月2日)から少し増加し、前年および平年(05-13年の平均)を上回りました。稚仔の平均出現数は約35尾で、前回から大きく増加し、前年および平年を大幅に上回りました。卵は小豆島南東部付近に集中していたのに対して、稚仔は広範囲に分布していました。

餌料生物として重要なカイアシ類は、前回より少し増加したものの、依然少ない状況です。

【参考】



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。  
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は8月1日の浅海定線調査に合わせて実施予定です。